

# Port of Hachinohe

No. 34  
Jul 2011

---Maritime & Trade Report---

## ●今号の主な記事

■八戸港コンテナ定期航路、順次再開!

～初のウラジオストク寄港開始～

■八戸セミナー 2011 のご案内

■補助金制度のお知らせ

■八戸港復興会議

■八戸市海外経済協力員レポート

この度、東日本大震災により  
被災されました皆様に、  
心よりお見舞い申し上げます。

## 八戸港コンテナ定期航路、順次再開!

東日本大震災の影響により運航を中止しておりました、八戸港のコンテナ定期航路が、港湾機能の復旧に伴い、順次寄港を再開いたしました。

震災後の第一便として、4月23日(土)に、内航フィーダー航路を運航する井本商運(株)のコンテナ船「まいこ」が、東日本大震災後、初めて八戸港に入港しました。

次いで5月19日(木)には、中国・韓国航路を運航する南星海運(株)のコンテナ船「Star Clipper」が入港し、八戸港の外貿コンテナ定期航路も再開しました。

6月20日(月)には、PIL (Pacific International Lines) 社のコンテナ船「KOTA DAHLIA」が入港するなど、八戸港のコンテナ定期航路は、順次再開しております。

(詳細記事は次ページ)



井本商運(株)コンテナ船「まいこ」



南星海運(株)のコンテナ船「Star Clipper」



PILのコンテナ船「KOTA DAHLIA」



# 被災地で初めてコンテナ定期航路が再開されました

## ～初のロシア・ウラジオストク寄港開始～

八戸港は、3月11日に発生した東日本大震災により被害を受け、コンテナ定期航路の運航も中止しておりましたが、去る4月23日(土)に、八戸港の内航フィーダー航路を運航する、井本商運(株) (井本隆之代表取締役社長、本社：神戸市)のコンテナ船「まいこ」(最大積載量 251TEU)が八戸港に入港し、東日本大震災後、東北地方の太平洋沿岸の港の中で初めてコンテナ定期航路が再開されました。

当日は、震災で被害を受け、復旧したばかりのガントリークレーンを使用して、精密機械部品等 132TEU (空コンテナ込)の積み降ろしが行われた後、コンテナ船は無事八戸港から出港しました。

5月19日(木)には、八戸港の中国・韓国コンテナ定期航路を運航する南星海運(株)のコンテナ船「Star Clipper」(最大積載量 960TEU)が入港し、各種原材料、雑貨等 73TEU (輸入 69TEU、輸出 4TEU、空コンテナ込)の積み降ろしを行った後、震災後初めての外航第一便として出港しました。同航路の再開により、八戸港の復旧がより本格的なものとなりました。

また、6月20日(月)には、PIL (Pacific International Lines) 社が八戸港への寄港を再開、コンテナ船「KOTA DAHLIA」(最大積載量 400TEU)が八戸港に入港し、雑貨、その他食料工業品等 236TEU (輸入 178TEU、輸出 58TEU、空コンテナ込)の荷役が行われました。なお、この6月からPIL社の東南アジア航路は、ロシアのウラジオストク港への寄港を開始するなど、ロシア極東との経済交流拡大が期待されます。

東日本大震災により、八戸港も甚大な被害を受けましたが、順次、八戸港のコンテナ定期航路は再開しておりますので、皆様、ぜひ八戸港をご利用ください。震災以前よりも、さらに荷主の皆様にご利用いただける港を目指して、関係者一丸となって取り組んでまいります。



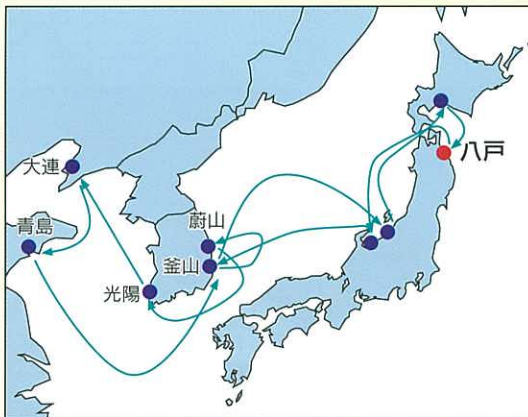
井本商運(株)



内航フィーダー航路 (井本商運) 寄港地	
週1便 (金曜日または土曜日)	苫小牧～八戸～京浜

お問い合わせ先  
井本商運(株) 代理店 八戸港湾運送(株)  
コンテナ事業部 コンテナ営業課  
〒031-8608 八戸市河原木字海岸 16-4  
TEL: 0178-29-3177 FAX: 0178-29-3119

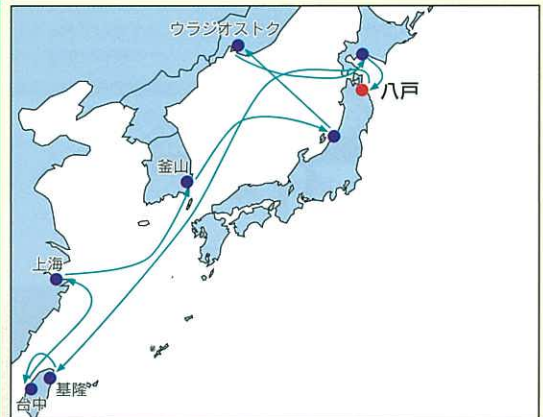
南星海運(株)



中国・韓国航路 寄港地	
週1便 (月曜日便)	大連～青島～釜山～新潟～苫小牧～ 八戸～富山～釜山～蔚山～光陽～大連

お問い合わせ先  
南星海運(株) 代理店 八戸港湾運送(株)  
コンテナ事業部 コンテナ営業課  
〒031-8608 八戸市河原木字海岸 16-4  
TEL: 0178-29-3177 FAX: 0178-29-3119

PIL



東南アジア航路 寄港地	
週1便 (金曜日便)	新潟～ウラジオストク～苫小牧～ 八戸～基隆～台中～上海～釜山～新潟

お問い合わせ先  
PIL 代理店 八戸通運(株) 海運営業所  
〒039-1161 八戸市河原木字海岸 36-11  
TEL: 0178-29-0202 FAX: 0178-20-3281



# 八戸セミナー2011のご案内～立ち上がる北東北の産業拠点都市～

八戸市及び八戸港国際物流拠点化推進協議会、八戸市企業誘致促進協議会では、(株)八戸港貿易センターと共催で、首都圏及び中部圏企業の八戸市への進出並びに八戸港の利用促進を目的として、東京及び名古屋において、下記のとおりセミナーを開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

## ○東京会場

日時：平成23年7月27日(水) 15:00～18:30

場所：東京ドームホテル 東京都文京区後楽1-3-61 TEL:03-5805-2111

次第：◆セミナー 天空B(地下1階) 15:00～17:00

- (1) あいさつ及び八戸市の復興状況 八戸市長 小林 眞
- (2) 八戸港の復興状況 青森県県土整備部港湾空港課 港湾振興グループマネージャー 工藤 英之
- (3) 第一講演 演題：「国内生産拠点の生命線と震災」  
講師：アルバック東北株式会社 代表取締役社長 小野 信一 氏
- (4) 第二講演 演題：「東日本大震災 復興への取組み」  
講師：東京鐵鋼株式会社八戸工場 資源営業部長 須郷 秀一 氏
- (5) 第三講演 演題：「復興支援の新しい形 八戸 BPO センター構想」  
講師：株式会社アークパワー 代表取締役社長 池邊 竜一 氏

◆情報交換会 天空A(地下1階) 17:00～18:30

## ○名古屋会場

日時：平成23年7月26日(火) 15:00～18:30

場所：名古屋マリオットアソシアホテル 名古屋市中村区名駅1-1-4 TEL:052-584-1122

次第：◆セミナー アイリス(16階) 15:00～17:00

- (1) あいさつ及び八戸市の復興状況 八戸市長 小林 眞
- (2) 第一講演 演題：「企業にとっての八戸の魅力 - 人材育成と豊かな文化 -」  
講師：(独)国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校長 岡田 益男 氏
- (3) 第二講演 演題：「グローバル競争を勝ち抜くために ~イノベーション拠点・八戸~」  
講師：中央発條株式会社 取締役社長 高橋 德行 氏
- (4) 第三講演 演題：「復興支援の新しい形 八戸 BPO センター構想」  
講師：株式会社アークパワー 代表取締役社長 池邊 竜一 氏

◆情報交換会 アイリス(16階) 17:00～18:30

主催：八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会

共催：(株)八戸港貿易センター

後援(予定)：青森県・青森県企業誘致推進協議会・(独)中小企業基盤整備機構東北支部・(株)日本政策投資銀行  
(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)・八戸商工会議所

※セミナーは参加無料です。  
どなたでもご参加できますので、お気軽にお申し込み下さい。

## お問い合わせ先

八戸市商工労働部 産業振興課  
TEL:0178-43-9244 (直通)

## 補助金制度のお知らせ

八戸港国際物流拠点化推進協議会では、八戸港の利用促進、貿易振興のため、次の補助金制度を実施しています。海外市場への事業展開や御社の物流コストの削減にご活用ください。

なお、両補助金とも予算の範囲内での補助となりますので、予めご了承ください。

### ●コンテナ輸送トライアル補助金制度

この制度は、新たに八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用する場合、コンテナ輸出入1回につき5万円を補助するものです。

補助金対象者は、国内に1年以上事業所を有し、平成20年4月1日以降八戸港の外貿コンテナ定期航路を利用されたことのない企業様(もしくは個人経営者様)で、3回まで利用できます。

### ●小口混載貨物輸送補助金制度(荷主向け)

この制度は、八戸港で小口貨物の輸入を行った荷主に対し、1㎡もしくは1tあたり3千円(1荷主あたり年間限度額15万円)の補助をするものです。

### ●小口混載貨物サービス事業支援助成金制度(事業者向け)

この制度は、八戸港で小口貨物の輸出入を行う企業様向けに、コンテナ1本輸送につき5万円を補助するものです。対象事業者の公募は随時受け付けております。

## お問い合わせ先

八戸港国際物流拠点化推進協議会  
(八戸市商工労働部産業振興課内)  
TEL:0178-43-9244



## 八戸港復興会議

3月11日に発生した東日本大震災により、八戸港は、防波堤の倒壊、岸壁の損傷など甚大な被害を受けました。

このため、今後の八戸港の再生にあたって、国、青森県、八戸市、港湾利用企業等が協力して、復旧・復興のための方針「八戸港復旧・復興方針」を策定し、具体的な復興策をとりまとめることを目的として、「八戸港復興会議」が設置されました。

5月23日、第1回会議が八戸港貿易センターで開催され、港湾施設、港湾利用企業の被害・復旧状況の情報交換や、これからの八戸港に必要な港湾機能についての意見交換が行われました。

出席者からは、「北防波堤の早期復旧をお願いしたい」、「うねり対策への早急な対処をお願いしたい」、「北防波堤の復旧について、津波に耐えられるよう機能強化も検討して欲しい」、「航路泊地の所要水深を確保してほしい」などの意見、要望がありました。

八戸港復興会議は、計3回開催し、7月末までに「八戸港復旧・復興方針」を策定する予定です。



第1回 八戸港復興会議の様子

お問い合わせ先  
八戸市建設部港湾河川課  
TEL 0178-43-9386

# 八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、平成23年7月現在(天津、シンガポール、タコマ)の3名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけますので、ご希望の方は八戸市商工労働部産業振興課(TEL0178-43-9244)までご連絡ください。(なお、海外経済協力員の日程等の都合により、対応できない場合もありますので、予めご了承ください。)

### REPORT

## シンガポールレポート



### 東日本大震災後のシンガポール

柴田 真理氏

ここシンガポールでも、東日本大震災、津波と原発事故の被災者への募金活動などの支援活動は、街頭、ショッピングセンターなどで行われており、ボランティア達はもちろん、国籍を問わない各国の人々が、真摯に日本のことを気遣ってくれるのは嬉しいし心強い限りです。

シンガポール政府は福島原発事故を受けて、3月11日以降に日本から輸入された食品について一部放射能検査を開始、15日には安全確保のために輸入食品の監視をさらに強化しました。日系スーパーマーケットでは「農食品・獣医庁(AVA)で検査済みです。売られている食品は安全です」と張り紙をしたり、「日本産」だけではなく「徳島産」など細かい地名を明記したりとさまざまな工夫をして安全性をアピールしています。

しかし、目に見えて日系スーパーマーケットや日本食レストランへの客足が減っています。「今どきの日本食は気分的に嫌」という感情によるものでしょう。

少し前までシンガポール人たちが買い物カートいっぱいに日本のものを買っていて、活気があり大混雑していたのがまるで嘘のようです。

一方シンガポール政府は、国民に対して日本への不要不急の渡航自粛を繰り返し呼びかけています。放射性汚染状況については、連日、海外、国内両メディアで注目していましたが、日本人の常識で「首都圏その他はまだ大丈夫」となった時点で予定通り出張する人が多い中、それは日本人の感覚で、シンガポールの常識では日本はまだ危険なところなのです。

この問題は日本国内だけでなく多くの国に影響をもたらしています。早く終息に向かってほしいと願います。



日系デパートでの「がんばろう日本フェア」



# 震災復興への架け橋

## ～大型客船「ぱしふいっくびいなす」八戸港寄港～

5月16日(月)、「春探訪 日本一周クルーズ」(5月9日(月)～19日(木) 横浜港及び神戸港発着)の行程で、八戸港に日本クルーズ客船株の「ぱしふいっくびいなす(26,594トン)」が寄港しました。

3月11日に発生した東日本大震災の影響により、八戸港への寄港が危ぶまれましたが、日本クルーズ客船株が実際に現地視察し、寄港に問題がないことを確認した上で、入港を決定いただいたものです。

また、入港に際し、小林市長から歓迎のメッセージも「ぱしふいっくびいなす」のホームページへ掲載して頂きました。

当日は、光星学院高等学校による吹奏楽演奏、大漁旗などによる入港歓迎を行い、朝8時に八太郎4号埠頭P岸壁に接岸後、由良船長、藤村機関長、阿部ホテルマネージャーに出席いただき、入港歓迎セレモニーを行いました。

小林市長より、「震災から八戸は一步一步、復興の道を歩き始めたところですが、そのような中、皆様を迎えることができて本当に嬉しい」と、感謝の挨拶がありました。また、由良船長からは、八戸港寄港に当たり、4月に「ぱしふいっくびいなす」(新日本フェリー・日本クルーズ客船)より義援金を頂いておりましたが、更に、震災以降、乗船客及び乗務員の皆様から集められた義援金が八戸市に贈られました。併せて、「今回の寄港をきっかけに、日本全国の多くの皆さんが八戸に訪れてくれることを願っています」という、復興へのエールを頂きました。

セレモニー終了後は、多くの乗船客の皆様が「種差トレッキング」や、山の楽校での「そば打ち体験」など全4コースのオプションツアーに出発し、地元の人達と交流しながら八戸の豊かな自然と食を満喫していただきました。また、岸壁においても、「八戸せんべい汁」のお振舞い、「北のフルーツパーラー体験」、「地酒販売」など様々な催しで楽しんでいただきました。

夕方の出港イベントでは、八戸小唄や南部手踊り、八戸えんぶりや法霊神楽の迫力ある郷土芸能が披露され、たくさんの乗船客の皆様が最後まで楽しんでくださいました。小林市長からの「八戸はいかがでしたか」の呼びかけに、乗船客の皆様から拍手が沸き、中には、感動で涙ぐまれている方もいらっしゃったようです。

震災後、初めてとなった今回の寄港は、クルーズのトリ(最終寄港地)でもあり、クルーズの皆様にとって思い出深いものとなったと思います。また、市としても八戸港の復興、そして震災に負けない八戸をPRできたものと思っています。今後も、たくさんの客船に継続的に寄港していただけるよう、誘致活動に取り組んで参ります。



由良船長より義援金を受け取る小林市長



山の楽校でのお出迎え



出港イベントでの南部手踊り披露



出港時、別れを惜しんで手を振る子どもたち

### 「ぱしふいっくびいなす」

日本クルーズ客船株が運航する旅客船で、同社が運航していた「おりえんとびいなす」の姉妹船(同型ではない)として、1998年に就航した、日本籍で2番目に大きなクルーズ客船です。  
全長183.4m、全幅25m、総トン数26,594トン、旅客定員644名。コンセプトは、「ふれんどしっぷ」。人との触れ合いが多く、心地よくて温かい雰囲気はまるで「洋上の我が家」です。

### お問い合わせ先

八戸市まちづくり文化観光部観光課  
TEL: 0178-46-4040



# 海外ビジネスに取り組む県内企業への青森県の支援について

青森県では、海外ビジネスに取り組む県内企業を支援するため、中国・アジア地域、ロシアを中心に商談会開催や見本市出展支援などを行っています。

平成22年度は、7月の中国・上海万国博覧会青森県ウィーク期間中に開催され、農水産加工食品製造業者など県内企業20社が参加した「上海ビジネス商談会」を支援したほか、10月に中国・大連市で開催された「2010大連中日貿易投資展示商談会」への水産加工業者など県内企業・団体の出展を支援し、5件の成約につながりました。

ロシアにおいても、9月にハバロフスク市で開催された「ハバロフスク国際見本市」への県内企業の出展と商談を支援したほか、2月にはモスクワ市で開催された国際見本市「PROD EXPO 2011」への、りんご酢、リキュール、しょうゆ、焼き肉のたれなどを製造する県内企業5社の出展を支援し、現地企業と多数の商談が行われました。

また、アメリカでも、2月にニューヨーク市で開催された「NY国際レストラン&フードサービスショー」への、みそ製品、黒にんにく、日本酒を製造する県内企業の出展を支援し、その後の取引につなげることができました。

このほか、県内企業4社が出展した6月の「第20回台湾国際食品見本市」にブース借上経費の支援を行ったほか、10月のインド・グルガオン市での県産日本酒の試飲・商談会の開催を支援しました。

今年度においても引き続き、中国（香港、大連市、上海市）やロシアでの見本市、展示商談会への出展支援や大連企業の招聘商談・視察会等を実施することとしているほか、県内企業が海外で開催される見本市に出展する際の経費等に対する補助も行っていきます。

さらに、大連市にビジネスサポートセンター、上海市と香港にコーディネーターを置いて、県内企業の現地ビジネス活動の支援を行うとともに、県内においても、海外ビジネスに関するセミナー、個別相談会を随時開催するなど、幅広いメニューにより県内企業による県産品輸出などの海外ビジネスの取組を支援しています。



「2010大連中日貿易投資展示商談会」開会式の様子



インドでの日本酒試飲の様子

## 平成23年度 海外ビジネス支援事業スケジュール

平成23年度の事業スケジュールは以下の予定です。各事業の内容やお申し込みなどについては、お気軽にお問い合わせください。

	H23.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H24.1月	2月	3月
国内商談会・セミナー・相談会			中国ビジネス個別相談会	商品開発セミナー 国内商社個別相談・商談会 極東ロシア個別相談会	商品開発セミナー	中国ビジネス個別相談会	ベトナム人留学生試食会 国内商社個別相談・商談会	大連企業招聘商談・視察会 (県内)	中国ビジネス個別相談会	商品開発セミナー	中国ビジネス個別相談会 国内商社個別相談・商談会	極東ロシア個別相談会 国内商社招聘商談会(県内)
海外見本市等					香港見本市出展	ハバロフスク見本市 出展・相談	大連展示商談会 出展	上海展示商談会 出展	ベトナム市場調査			
	← 海外市場販路開拓支援事業費補助金 →											
	← 大連ビジネスサポートセンターによる支援 →											
	← 海外ビジネスコーディネーター（上海）による支援 →											
	← 中国ビジネスコーディネーター（香港）による支援 →											

なお、最新情報は、随時、以下のホームページにアップしておりますので、ご確認ください。  
 <県国際経済課ホームページアドレス>  
<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kkokusai/kokusaikizai/index.html>

**お問い合わせ先**  
 青森県観光国際戦略局国際経済課  
 経済交流グループ  
 TEL:017-734-9730 FAX:017-734-8119



# 青森から地域間交流支援事業 (Regional Industry Tie-Up Program : RIT 事業) 事前調査に採択

日本貿易振興機構 (JETRO)  
青森貿易情報センター  
TEL 017-734-2575  
FAX 017-773-2877  
〒030-0802 青森市本町1-2-15 青森本町第一生命ビル5階

ジェトロは平成 23 年度地域間交流支援事業 (Regional Industry Tie-Up Program : RIT 事業) 事前調査として、“青森県－ドイツ「医療・福祉木製玩具」分野案件”を採択しました。

日本各地には優れた技術を有する中小企業群が存在していますが、RIT 事業は、ジェトロが国内外ネットワークを通じて収集した情報の提供や商談の支援等を実施することで、国内の中小企業群と海外の有望企業群とのビジネス交流を最大 3 年間支援するものであり、本案件はそれに応募するための事前調査支援として採択されました。RIT 事業を通じて自らの強みを活かし市場開拓、新製品開発、技術交流等を進め、ひいては地域経済の活性化に寄与することが期待できます。支援期間は 1 年間です。

今回採択したのは 9 件ですが、「医療・福祉木製玩具」はこれまでにない初めての分野であり、ジェトロ青森は、ジェトロデュッセルドルフとの連携で、来年の RIT 事業支援採択となるよう実施主体である「あおり木製玩具研究会」をサポートいたします。

青森県には軽量家具・工芸分野で優れた技術を有する企業が存在し、特に申請団体「あおり木製玩具研究会」は木工製品に新たな付加価値を持った玩具開発を目指しています。

一方、ドイツでは医療分野・技術研究開発が進んでおり木製玩具への応用が進んでいる状況から、その企業等との交流を通じて医療、知育に関するノウハウを吸収し、青森の地場産業である木製玩具を障害者向けの教育用玩具や医療関連製品などに応用できないかを探ってまいります。

<参考：23 年度 RIT 事業事前調査採択地域>

- ①青森県－ドイツ (医療・福祉木製玩具) ②新潟市－フランス (航空機：金属機械関連)
- ③大阪－デンマーク (ロボット関連) ④大阪－ドバイ、アブダビ、カタール (デジタルコンテンツ) ⑤広島－中国 (環境関連)
- ⑥山口－台湾 (機械関連) ⑦北九州市－インドネシア (水ビジネス) ⑧大分県－インドネシア (自動車)
- ⑨沖縄－シンガポール (ゲーム)

※平成 17 年度～18 年度 LL 事業採択 → 青森県－大連 (IT 産業)

平成 20 年度 RIT 事業事前調査 → 青森県 (弘前地区)－スウェーデン・フィンランド (パッケージ産業)

※ RIT 事業は平成 19 年度から実施。前身のローカル・トゥー・ローカル産業交流事業 (LL 事業) は平成 8～18 年度まで実施。

## 八戸港の貿易概況報告 (平成 23 年 1 月～4 月)

### <概況>

東日本大震災により被災した主要工場が操業停止を余儀なくされたことから、3 月・4 月は輸出入とも大幅な減少となりました。

### ■平成 23 年 1 月～4 月の貿易速報値 (金額単位：千円)

注：数表中の「-」は実績なし、「0」は実績が表示単位に満たないことを表します。

#### 輸出

品名	単位	今年累計		対前年比累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	3,210	323,562	46.1%	38.0%
鉄鋼くず	MT	2,851	91,232	32.5%	32.2%
有機化合物		0	159,307	-	70.8%
紙類及び同製品	MT	2,499	165,406	84.0%	84.7%
鉄鋼	MT	27,740	10,974,512	58.6%	70.5%
非鉄金属	MT	1,166	224,415	54.6%	50.3%
一般機械		0	10,783,797	-	65.5%
船舶類	NO	4	13,429,900	100.0%	110.9%
その他		-	418,364	-	63.1%
合計	-	-	36,570,495	-	78.1%

#### ●コンテナ貨物通関本数 ( ) 内は前年比

輸出	1,834TEU (49.4%)
輸入	2,203TEU (66.1%)
合計	4,037TEU (57.3%)

#### ●月別輸出入金額 (対前年比)

	1月	2月	3月	4月
輸出	150.7%	128.4%	62.6%	9.4%
輸入	95.7%	130.1%	37.3%	48.0%

#### 輸入

品名	単位	今年累計		対前年比累計%	
		数量	価格	数量	価格
魚介類及び同調製品	MT	1,324	642,639	114.5%	76.9%
とうもろこし	MT	247,379	6,327,923	79.4%	93.9%
こうりゃん	MT	43,986	1,085,955	53.8%	59.0%
植物油かす	MT	76,964	3,153,812	77.7%	76.2%
木材		0	100,014	-	65.8%
粗鉱物	MT	30,076	120,834	103.2%	33.0%
ニッケル鉱	MT	388,912	3,046,669	50.4%	63.1%
鉛鉱	MT			-	-
亜鉛鉱	MT	19,000	1,181,891	50.3%	54.5%
非鉄単金属くず	MT	7,289	417,915	133.1%	125.8%
石炭・コークス・練炭	MT	159,981	2,209,269	107.8%	158.7%
肥料	MT	3,764	119,839	108.4%	95.3%
その他化学製品	MT	* 3,359	251,371	67.7%	80.4%
ウッドチップ	MT	195,137	3,738,386	78.6%	76.2%
織物用糸・織物		0	100,473	-	45.7%
非鉄金属	MT	8	5,174	34.8%	25.9%
金属製品		0	197,480	-	43.3%
一般機械		0	510,714	-	263.2%
電機機器		0	57,223	-	93.3%
再輸入品		0	241,677	-	45.2%
その他			1,975,572	-	35.4%
合計			25,484,830	-	72.4%

※資料：八戸税関支署発表の貿易概況 (八戸港・むつ小川原港・久慈港) から抜粋



コンテナ航路		船社名	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地	
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運(株)	週1便(金)	《寄港地》	台湾(基隆、台中)、ロシア(ウラジオストク)、中国(上海、韓国(釜山))
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(月)	《寄港地》	韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(大連、青島、)
	北米航路	WSL	八戸港湾運送(株)	月1便(水)	《寄港地》	アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)、釜山
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運(株)	週1便(火or水)	《寄港地》	横浜 《接続地》 世界各港
		井本商運(株)	八戸港湾運送(株)	週1便(金or土)	《寄港地》	東京・横浜 《接続地》 世界各港
		鈴与海運(株)	八戸港湾運送(株)	隔週(土)	《寄港地》	横浜、清水、名古屋 《接続地》 世界各港

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	5
蔚山(韓国)	5	8
基隆(台湾)	6	15
台中(台湾)	7	14
高雄(台湾)	8	16
香港(中国)	12	23
大連(中国)	6	8
青島(中国)	7	7
上海(中国)	7	7
天津新港(中国)	8	9
寧波(中国)	6	8
蛇口(中国)	11	13
ウラジオストク(ロシア)	17	4
シンガポール	17	24
ジャカルタ(インドネシア)	26	22
バンコク(タイ)	22	23
レムチャパン(タイ)	23	15
マニラ(フィリピン)	27	24
ホーチミン(ベトナム)	23	20
ハイフォン(ベトナム)	10	12
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	31	21
オークランド(ニュージーランド)	40	28
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ハンブルグ(ドイツ)	43	44
ロッテルダム(オランダ)	41	42

みたと通信

八戸港は、平成23年3月11日に発生した地震及びそれに伴う津波により甚大な損害を被りました。

被害状況は、八太郎北防波堤が全長3,496mのうち、1,537mのケーソンが倒壊したのを始めとして、各地域の防波堤の一部が倒壊しました。また、各埠頭の野積場など埠頭用地、コンテナヤードの管理棟や緑地公園のトイレ、照明灯や荷役機械ほかの電気設備など多くの港湾施設が損傷しました。これら港湾関係の被害金額は、5月30日判明分で約335億円となっています。

県では、国と共に、震災直後から、港内の支障物の確認調査を実施し、支障物等の引き揚げ作業を実施してきました。その結果、3月18日、震災後初めて、八戸港に貨物船が入港したのを皮切りに、初のコンテナ船が4月23日に入港し、5月19日には中国・韓国航路の外航コンテナ船が震災以来初入港し、八戸港の海上輸送機能は着実に回復してきています。

八戸港は、一部制限もありますが、利用可能な施設が拡大してきています。県では、今後とも国と協力し、北東北地域の産業活動を支える物流拠点機能の復旧に向け、全面利用再開に向けた作業を引き続き実施して参ります。

青森県三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所

TEL:0178-27-5111 (内線)391 FAX:0178-27-4715

編集後記

東日本大震災の対応でバタバタしているうちに、いつの間にか春が終わってしまい、夏に入っていました。ここ数年の夏は「猛暑」という言葉が毎日のように語られていましたが、今年はほとんどの暑さがいいですね。

今、例年以上に節電が求められる状況で、エコ意識が高まっていますが、震災や余震で停電した際に、私たちの生活がどれだけ電気に支えられているか、そして意識しないままにどれだけ電気に依存しているのか、身に染みました。いつもの電化製品がいつものように機能しないだけで、あたふたしてしまいます。

余震が多い中で、壊れた物を捨てるついでにあちこち整理したところ、思いがけずお土産品のロウソクが出てきました。「停電の時に欲しかった…」と思いつつ、また停電になった時のために、非常用荷物と一緒にしてとってあります。家も職場もモノがあふれていますが、いざという時必要なものをすくに取り出せるように、まだまだ整理が必要です。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

八戸通運株式会社(海運営業所)	TEL:0178-29-0202	FAX:0178-20-3281
八戸港湾運送株式会社	TEL:0178-29-3177	FAX:0178-29-3119
新丸港運株式会社	TEL:0178-20-2321	FAX:0178-20-2353
八戸運輸倉庫株式会社	TEL:0178-28-2401	FAX:0178-28-6976
三八五流通株式会社(八戸区域事業所)	TEL:0178-52-7755	FAX:0178-52-7751
日本通運株式会社八戸支店	TEL:0178-20-3040	FAX:0178-20-3154
ナラサキスタックス株式会社八戸支店	TEL:0178-73-9220	FAX:0178-73-9225

株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・青い森信用金庫  
青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会

※航路情報や寄港地毎の所要日数等は、やむを得ず変更になる場合がございます。詳細は各代理店へご確認をお願いします。



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市商工労働部産業振興課内

TEL:0178-43-9244 FAX:0178-43-2256 e-mail: hppc@hi-net.ne.jp www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階

TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp www.hptc.co.jp